

PET-CT検査をご依頼くださる先生へのご案内

独立行政法人国立病院機構
姫路医療センター

平素は当センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当センターではPET-CT検査を患者様に安心・安全に受けていただき、検査結果を迅速に提供できるように努めております。是非ご利用くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

▼申し込みの際、ご注意いただきたい点

- お申し込みは、PET-CT診療情報提供書にてご予約を受け付けております。
- 検査に使用する薬剤は当センターでは院内製剤として取扱っておらず、至急の検査には対応いたしかねますのでご了承ください。
- 検査日時につきましてはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 検査前の諸注意を守れない方、理解力が低下されている方、介助の必要な方の検査は、職員の被ばく軽減のためお受けできない場合がありますのでご了承ください。

▼受付方法

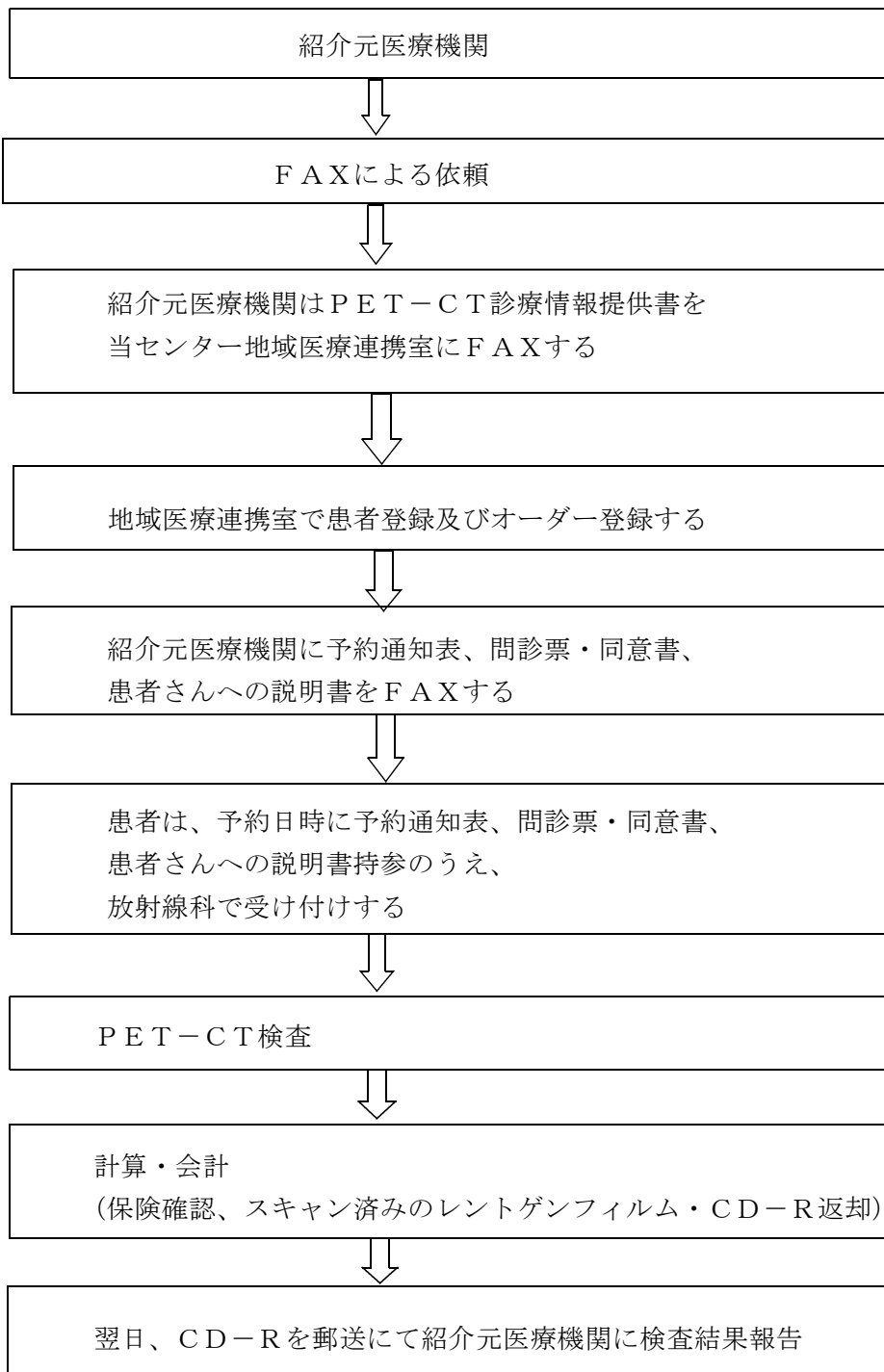
- PET-CT診療情報提供書をご記入の上、地域医療連携室までFAXをお願いします。（診療情報提供書の記載内容については、確認のご連絡をさせていただく場合があります）不明な点がございましたら、地域医療連携室もしくは放射線科技師長にお問い合わせください。
- ファクシミリ到着後、日時調整・決定のうえ、ご依頼の先生あてに予約通知表、同意書・問診票、患者様への説明書を送付致します。
- 予約通知表、同意書・問診票、患者様への説明書は、患者様に渡していただき、検査当日持参のうえ、地下1階の放射線科受付に来院していただきます。
- 地域医療連携室の予約受付時間は、平日8時30分から19時00分

▼結果返送方法

PET-CT検査の結果は、翌日（翌日が土日祝の場合は、翌開院日）、読影医の所見を添付しCD-Rを郵送にて報告させていただきます。

▼連絡先

地域医療連携室：TEL 079-225-3317
FAX 079-225-3317



PET-CT 検査スケジュール



検査前日

- ・激しい運動は、前日より控えて下さい。筋肉に検査薬（FDG）が集まってしまい診断画像に影響することがあります。



検査予約4時間前

- ・血糖値が高いと診断画像に影響することがあります。検査予約時間の最低4時間前（5～6時間前が望ましい）から食事を控えます。ただし、糖分を含まない水分はたくさん摂っておきます。



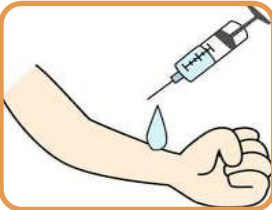
受付

- ・保険証及び問診票を記入の上、持参下さい。
- ・地下1階放射線科受付へお越し下さい、検査室へご案内致します。



PET-CT検査室⑬へ

- ・更衣室にて検査着に着替えて頂きます（金属製品等を身につけていますと診断画像に影響することがありますので、必ず外しておいて下さい）。
- ・貴重品はお持ち下さい。
- ・検査についての簡単な説明を致します。



PET-CT処置室（FDG静脈注射）

- ・血糖値の測定を行います（200以上では診断画像に影響することがあります）。
- ・FDG（PET検査用医薬品）を専用の注入器にて静脈内に投与します。



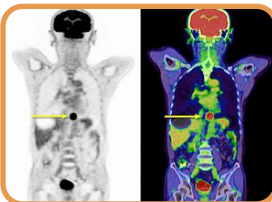
待機室

- ・FDGが全身に行き届くまで1時間、安静にして頂きます。
* 読書・音楽鑑賞等もできません。
- ・お水を服用し、できるだけPET-CT撮影時に膀胱内にオシッコが溜まっていないように排尿して頂きます。



PET-CT検査（撮影）

- ・約20分の撮影です（仰向きにて寝て安静にして頂きます）。
* 息を止めて頂くことはありませんが、体（頭も含んで）を動かしてしまうとPETとCT画像が合成できないことがあります。



待機室

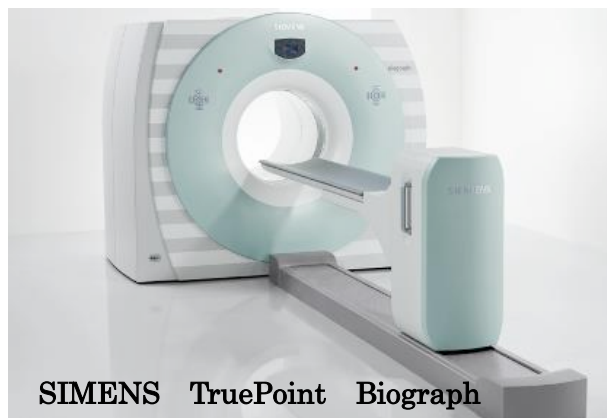
- ・画像の確認とFDGの減衰を待ちますので、再び待機室にてお待ち下さい。
- ・画像の可否を確認し、必要に応じ追加撮影を行うことがあります。



検査終了

- ・会計課へお越し下さい。
- ・検査の結果は翌日以降に紹介医様宛に郵送させていただきます。

PET-CTのご案内



SIMENS TruePoint Biograph
姫路医療センター 放射線科

姫路医療センターでは、地域がん拠点病院としての更なるがん診療の質の向上を目指して、このたび最新鋭のPET-CTを導入致しました。PET-CT 装置導入により更に早期診断から治療までの当センターの機能が充実することになります。

PET 検査とは

PET（ペット：Positron Emission Tomography）とは「陽電子放射断層撮像法」のことで、陽電子の体内分布を画像化する技術のことです。

がん細胞は、分裂が盛んに行われているため、正常な細胞に比べて、約3～8倍の非常に多くのブドウ糖を消費します。PET 検査はこの性質を利用しブドウ糖に似た検査薬（FDG）を注射し、その集まり具合を検出して診断します。集まり具合はがん細胞がブドウ糖を取り込む量、つまり活動性に比例するため、PET はがん細胞の機能を反映する検査とも言われています。

この検査は、FDG を静脈注射する際の痛みだけで、あとは安静に寝ているだけです。検査で痛みや不快を感じることはありません。

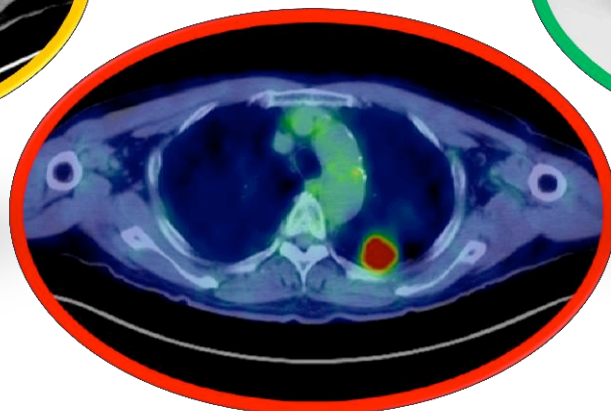
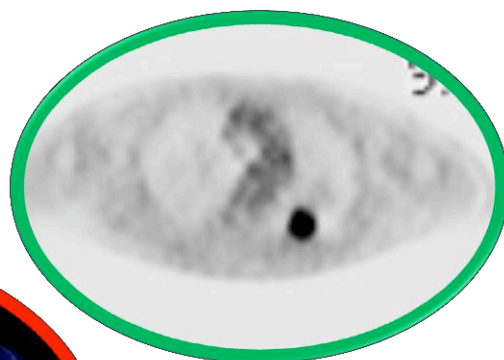
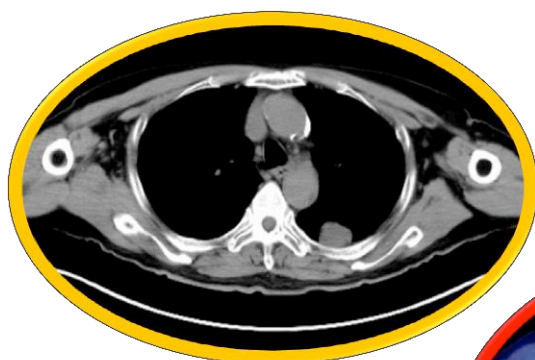


がん細胞は正常細胞の3～8倍ものブドウ糖を摂取します。

PET-CT 検査の特徴

当センターでは最新鋭の高感度・高分解能の検出器を備えたPETと、マルチスライスCTを融合した機種（ドイツ：シーメンス社製 TruePoint Biograph）を導入します。短時間で高画質の画像を得るため多彩な機能を付加し、受診される方への負担の軽減を図っています。

一度のPET-CT検査を行うだけで生体の機能情報（PET画像）と解剖学的な情報（CT画像）が得られるため、病巣部の位置の特定や正確な診断を速やかに行なうことができ、PET単独による検査より正診率が向上します。



PET-CT 検査をご依頼くださるご施設へのご案内 院外用

独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター

PET-CT 検査の有用性はご承知のことと存じますが、保険適用の制限や、検査前の処置、注意点など、わかりにくかったり、忘れてしがちなことも多くあります。つきましては、以下にポイントを記しますので、ご確認の上、ご依頼いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、検査前の諸注意が守られない等、理解力が低下されている方および介助の必要な方の検査は、職員の被曝の観点からお受けできない場合がありますのでご了承下さい。

1. 保険適用に関する注意

現時点(平成 30 年 4 月)では、以下の要件を満たす場合に、保険適用となります。悪性腫瘍に関しては、画像診断、腫瘍マーカー等が行われており、確定診断が得られていることが必要です。

該当しない場合は自由診療扱いとなり、およそ 10 万円の自己負担となります。よくご確認の上、ご依頼くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、同一月内にガリウムシンチグラフィが行われている場合も、保険適用とはなりませんので、ご注意ください。

悪性腫瘍 (早期胃癌を除く)	他の検査、画像診断により病期診断、再発・転移の診断が出来ない患者
てんかん	難治性部分てんかんで外科的切除が必要とされる患者
心疾患	虚血性心疾患による心不全患者で、心筋組織のバイアビリ ティ診断が必要とされる患者(ただし通常の心筋シンチグ ラフィで判定困難な場合に限定する)又は心サルコイドー シスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者
血管炎	高安動脈炎等の大型血管炎において、他の検査で病変の局 在または、活動性の判断のつかない患者に使用する。

2. 確認事項、患者さんに説明していただきたい点

検査の概要等は、患者さん向けの「PET-CT 検査を受けられる方へ」にも記載しています。

【PET-CT 診療情報提供書記載のお願い】

- ① PET-CT 診療情報提供書にはできるだけ詳細な傷病名、症状経過、検査結果、治療経過などの記載をお願いします。また、糖尿病に関する情報は特に重要であり空腹時血糖値のご記入と現在使用中の糖尿病薬についての情報をお知らせ下さい。検査の計画上で、身長と体重の情報が必要ですので必ず記載下さい。

- ② 画像診断の結果、病理検査結果、腫瘍マーカーの情報についても施行年月日と結果をお知らせ下さい。また、検査当日は必ず貴院で施行された CT や MRI 等の参考画像を患者様に持参させていただきようお願いします。

【説明項目】

- ① 予約日時に忘れずに来院すること、もし都合が悪くなって来院できなくなった際はすぐに病院に連絡すること、もし連絡なしに来院されなかった場合には無駄になった薬剤の費用を負担していただく場合もあること、をご説明願います。
- ② PET-CT 検査の内容についてのご説明
- F-18 FDG** というブドウ糖代謝の指標となる放射性医薬品を注射し、体内の放射能の分布を PET-CT 装置で画像化します。ブドウ糖代謝の盛んな腫瘍や炎症の病巣の診断ができます。F-18 は半減期は 110 分と短く、被ばくは微量で放射線障害の心配はほとんどありません。FDG 自体も、副作用は全くない安全な医薬品であることを、ご説明ください。
- ③ 検査前の注意事項についてのご説明
- ・ブドウ糖の代謝状態を正しく診断するため、**検査前 4 時間（できれば 6 時間）絶食**が必要です。（心サルコイドーシス診断の場合は 18 時間絶食）
 - ・ジュースなど糖分の入った飲み物や菓子などを飲食しないでください。お水は自由に飲んでください。
 - ・検査時、放射線科にてお水を用意し、待機中に飲んでいただきます。
 - ・前日、当日の激しい運動は、筋肉に FDG が集積するため、控えてください。
 - ・点滴をしている方は、ブドウ糖の入っていない生理食塩水などに切り替えてください。
 - ・前日から下剤、当日から糖尿病のお薬は服用できません。ただし、下剤、糖尿病以外のお薬は服用してかまいません。
- ④ 検査当日の流れは、以下のとおりです。
- 当センター外来受付後、予約時間までに地下 1 階の放射線科受付へ来て下さい。
 - 検査前に、問診や、血糖値の測定も行います。
 - (FDG) を静脈注射します。
 - 体内の薬剤が撮影に適した状態になるまでに約 1 時間、待機室で静かにします。（安静時間中の食事や、運動や読書、音楽などの鑑賞は不可。）
 - 薬剤は尿に排泄されるため、トイレで排尿した後に撮影します。きれいな画像を撮影するため、注射後にお水を飲んでいただき、トイレに行ってもらい膀胱の集積を低くします。
 - 撮影時間は約 20 分です。（時間をおいて追加撮影することもあり。）
 - 撮影終了後は画像確認、時間をおいて撮影等のため、待合室で待機していただくことがあります。
- ⑤ 料金（検査の総額で約 10 万円、保険適用 3 割で 3 万円前後）についてもご説明ください。
- ⑥ 予約時間より遅れて来院された場合、絶食を忘れた場合、血糖コントロールが不良

で検査時の血糖値が高すぎる場合、検査中止となることがあります。

- ⑦ 交通事情による薬剤輸送障害などによる検査時間の遅れや、延期、中止もあり得ます。
- ⑧ 他の方の無用な被曝防止のため、当日は外来の診察や、他の検査はできません。
- ⑨ 検査後もごく微量の放射線がでていきますから、注射から6時間程度は放射線感受性の高い胎児や乳幼児との接触は念のためにご遠慮ください。検査の翌日は普段どおりでもさしつかえありません。

【確認・留意事項】

- ① 糖尿病で空腹時血糖値が200mg/dl以上の場合、検査できません。その場合、検査時に200mg/dl以下になるように、管理をお願いします。ただし、検査前のインスリン使用は避けてください。
- ② 原則として、ストレッチャー移動の方や、検査時の鎮静が必要な方、介助が必要な方の検査はできません。ご了承ください。
- ③ オーダ画面の必要事項をもれなくご確認、ご記入ください。
- ④ 患者さんの同意を得た上で、同意書の署名をいただいでください。
- ⑤ 「問診表 同意書」は検査当日に持参していただけますよう、よろしく願い申し上げます。

3. 検査のお申し込み方法

RI 検査と同様、電子カルテにて予約をお取りください。

- ① 予約の変更、キャンセルがありましたら、速やかにご連絡ください。
- ② 当院では薬剤の院内製造は行なっていないため、至急の検査には対応できません。
- ③ 必ずしもご希望の日時に検査できるとは限りません。その際はなにとぞご了承ください。

今後、保険適用の変更、診療報酬の改定、予約など、上記の内容が異なってくることもあります。他、もし何か疑問な点がございましたら、放射線科までお問い合わせください。